



◎川原大使挨拶：（一部防災機材（橋梁点検車）のインフラ省への引き渡し式）

2016年5月31日14:00・、於通信・インフラ・住宅省内）

モラレス大統領、
ガルシア・インフラ大臣、
ベニート・ルイス・インフラ省次官、
アギラル・インフラ省次官、
カスティージョ外務次官、
マルドナドCONRED長官、
メディア関係者、
関係各位、



今日、モラレス大統領、ガルシア・インフラ大臣とともにインフラ省向けの防災機材の第一弾として橋梁点検車の引き渡し式を実施できることを、大変に喜ばしく思います。 今年後半には、インフラ省に対して他の防災機材供与を予定（Ultrasonic Non-Destructive tester, Ground Penetrating Rader, Radio Controlled Helicopter with Video Recording Function and so forth）しています。



日本からグアテマラへの多岐にわたる開発協力活動の中で、防災支援は最重点項目の一つです。日本とも共通しますが、グアテマラでは、天災が多く、地震、火山噴火、豪雨、熱帯ストームなどが毎年繰り返されています。こうした事情から、グアテマラの災害防止・減災分野の支援を日本政府は重視してきました。





昨年9月、日本から国家防災調整委員会（CONRED）へ別途防災機材の引渡しを行った直後、10月1日に発生したカンブライIIの地滑り現場で、日本からの供与機材（地下探査レーダー機器、大型照明装置など）が活用されました。その後、当時のマルドナド大統領、CONRED長官からの感謝の言葉も頂きました。



我が政府は、防災機材の供与と併せて、これまで、日本が有する防災分野の経験・知見・技術について、グアテマラ・中米など世界各国途上国に対して、人材育成のため研修を実施しています。CONRED関係者数十名に対して日本の知見を生かした防災研修を実施し、その結果は、全国の学校での防災キャンペーン実施に大いに活用されています。





日本では、デジタルTV方式導入に合わせて防災情報提供システムが利用され、これまで防災・減災に大いに役立っています。同じデジタルTV方式が、当国でも導入準備中と承知していますので、近い将来、リアルタイムで防災情報の利用ができるようになります。日本はこの方面でもグアテマラへの支援を継続したいと考えています。

最後に、今回グアテマラ政府に引き渡した橋梁点検車が、今後、グアテマラの数多くの橋梁の安全対策に大いに活用されることを願っております。（了）